

## 平成19年12月20日 第四回定例議会行政報告

ふるっふ温泉の運営について報告いたします。

ふるっふ温泉の利用者数の推移については、平成10年度に48,667人とピークを迎えましたが、その後、減少を続け平成18年度実績では、19,550人と初めて20,000人を割り込み、平成19年度の上半期実績に基づいた推計においても20,000人前後の見込みにとどまっております。また、この利用者の推移に伴い、収入も減少を続け平成18年度の収入はピーク時の約6割程度となっております。

次に、温泉の湯量についてであります。掘削当時は、毎分80から100リットルとされておりましたが、現在は毎分15から30リットルと減少し、これまでに、ふれあい福祉センターへの供給中止や、水道水の補充により湯量の確保を行ってきたところでありますが、この湯量確保のための水道水の補充は、源泉の成分を希釈させ、特徴的な成分でありますナトリウムイオンや塩素イオンなどの成分を2割程度まで減少させており、温泉の効能低下をも引き起こしております。

施設状況であります。平成9年より供用開始された本施設も10年が経過し、温泉を汲み取るポンプの老朽化・加温ボイラーの能力不足から、平成20年度以降においては、およそ2千万円程度の投資が必要とされ、さらには、入浴施設についても、仮設として建設されたものを10年以上利用していることから、大規模改修の必要性も指摘されているところであります。

これら利用者の状況や湯量・泉質の状況、施設整備にかかる費用等から、これまでと同様の運営を継続していくことは厳しい状況であると考えておりますが、先に実施いたしました利用者アンケートにより様々なご意見や要望をいただくとともに、入浴に窮されている方の実態についても把握させていただきました。また、温泉施設全般にわたり専門的なアドバイスをいただいております業者の見解もいただいておりますので、これらを総合的に判断しなければならないと考えておりますので、議員の皆様、町民の皆様にご理解を賜りますようお願い申し上げます。報告といたします。